スキースポ少 卒団生と現役生が集合
「ホームカミングデー in 只見スキー場」開催

只見町スキースポーツ少年団創立５０周年記念の「ホームカミングデー in 只見スキー場」が３月１日に只見スキー場で開催され、スポ少の現役生、卒団生ら３０人が参加しました。

イベントでは大回転レースが行われ、レース中には参加者のスキーへの思いや、スキー場での思い出、目標などエピソードを紹介するとともに、選手ごとに思い出の曲をＢＧＭとして流すなど、参加者らは創立５０周年のイベントを楽しみました。

▲イベントを楽しんだ参加者

ひなまつりの飾り絵をつくりました
かるがもクラブ「ひなまつり」

▲かわいい絵が完成しました

令和６年度最後となる「かるがもクラブ」は３月７日に開催され、５組の親子が参加しました。

始めに遊びを通して親子の触れ合いを楽しんだ後にひなまつりの飾り絵をつくりました。

絵は、台紙に足形や手形をとり、その形に着物をイメージしてマスキングテープを貼ったり、ペンで表情を描いたりし、オリジナルのお内裏様、お雛様の飾り絵を作成しました。

最後には参加者で仲良く記念撮影を行いました。

２メートル近い積雪の上を歩きました
「雪どけのブナ林観察会」開催

只見町ブナセンターの主催で「雪どけのブナ林観察会」が３月９日に余名沢の森にて開かれ、町内外から１４人の参加がありました。

豪雪となった今年は、観察会当日にもまだ２メートル近い積雪があり、その上をかんじきやスノーシューで進み、ブナの冬芽、雪で枝が垂れ下がったスギなど雪の中で生きる樹木の様子を観察しました。他にもトチノキなどの広葉樹や、キタゴヨウなどの針葉樹、ヤマブドウなど多様な種類の樹木があり、参加者は紙谷ブナセンター館長の解説の下、自然への学びを深めました。

▲ブナに囲まれ、積雪の上で記念撮影をする参加者

只見町で活動する大学生の活動報告
「大学生サミット2025 in ただみ」開催

森林の分校ふざわの主催で「大学生サミット２０２５ in ただみ」が３月２０日に季の郷湯ら里で開催されました。全国の大学生や聴講者ら約５０人が集まりました。

当サミットでは、只見町で実地調査や研究、活動を行う大学生グループによる活動報告や、報告に対する質疑応答、意見交換が行われており、３回目となる今回は、約５０人が参加しました。

活動報告では、布沢集落を紹介するマップ「布沢さとやまっぷ」の作成や、十島・塩沢集落の課題解決のためにＳＮＳ利用講座を行ったことなどについて、大学生３グループが発表しました。

▲報告を行った大学生

雪を楽しみながら闘志を燃やす
「TADAMIスノースポーツフェスティバル2025」開催

ＮＰＯ法人ただみコミュニティクラブ主催の「ＴＡＤＡＭＩスノースポーツフェスティバル２０２５」が３月９日に亀岡スポーツパークで開催され、雪上バレーボールや雪上フットサルが行われました。

▲今年も多くのチームが参加しました

イベントには、ゲストアスリートとして、大山未希氏、柴小屋康行氏、黄秀京（ファンスギョン）氏、佐藤玲惟氏、平井雅大氏が駆け付け、会場を盛り上げました。

参加者は、普段とは違う雪上での競技に若干戸惑いながらも、一歩も譲らない試合が展開されるなど、白熱した一日となりました。

今年も多くの方が訪れました
三地区公民館まつり 開催

三地区公民館まつりが行われ、伝統工芸品や冬期講座の作品など町民の皆さんが作成した様々な展示品が並んだ他、伝統芸能の発表や小学校児童の成果品なども展示され、興味深く様々な角度から作品を楽しむ来場者の姿が見られました。

▲朝日いいものあつめちゃた市（９日）

▲明和公民館まつり（９日）

▲只見公民館まつり（１６日）